

学校だより

# 豊かつ子



喜多方市立豊川小学校  
令和3年3月22日(月)  
発行者 校長 遠藤 信恵  
第22号(最終号)

【教育目標】 健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成  
◎(心も体も)つよい子 ◎(自然と友達に)やさしい子 ◎(真剣に)まなぶ子

## 卒業・進級おめでとうございます！



【卒業式の練習をする6年生】

### 1年間、大変お世話になりました

卒業式に合わせて咲くようにと育ててきた桜が、次々に開きはじめました。6年間、校庭で子ども達を見守り、春には心を和ませてくれた桜の花で、6年生の門出を祝福してあげたいと思います。

子どもたちの明るく元気な声が響く校舎に、別れと巣立ちの日がやってきました。本日22日(月)

は、1年生から5年生の107名が修了証書を手に入れました。そして、明日は、6年生15名が卒業式を迎えます。お子さまの卒業・修了、誠におめでとうございます。今年度は、コロナ禍のための臨時休業や行事等の変更、三密を避けながらの活動など、子ども達にとって不安や我慢することの多い1年でしたが、子ども達は毎日を明るく元気に生活し、本当によく頑張りました。通知表を一緒にご覧いただきながら、お子さまの頑張りが成長を認め、褒め、励ましていただくようお願いいたします。

お陰様をもちまして、間もなく令和2年度の全教育活動を無事に終えることができます。保護者の皆様、地域の皆様には、本校教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

## 3.11を忘れない、伝えていくために ～全校防災学習～



【笠間先生の震災体験を聴く】

東日本大震災から10年目となる11日(木)に、全校で防災学習を行い、午後2時46分には、黙とうを捧げました。

地震による建物の倒壊や津波の様子、原子力発電所の爆発、避難所の様子などを、画像で子どもたちに伝えました。そして、地震の時、猪苗代町立緑小学校に勤務していた笠間先生が、当時の学校の様子について話をしました。子ども達は真剣な表情で、時には思わず声を漏らしながら聴いていました。

また、15日(月)には、6年生で2回目となる防災講座を、喜多方市役所生活防災課職員を講師に行いました。東日本大震災をはじめ、様々な自然災害と避難等について学びました。

津波や放射線がどんなものなのか、子ども達には理解が難しいかもしれませんが、東日本大震災の記憶のない子ども達に震災の様子を伝えていくこと、それは亡くなった方や行方の方からない方々への祈りであり、自分の命は自分で守ることの大切さを教える大人の責任でもあります。さらに、原子力災害によっていまだに避難を余儀なくされている方がいることを知ること、福島県民としての自覚を高め、故郷の大切さを考えるきっかけになればと思っています。

## 受賞おめでとう！

◇瓜生岩子刀自読書感想文・絵てがみコンクール

最優秀賞	5年	長澤 南成 さん			
優良賞	5年	風間 晴仁 さん	5年	麻生 結愛 さん	
佳作	5年	新明 礼央 さん	5年	折笠 凜 さん	
	5年	吉川 日彩 さん	5年	渡部 大翔 さん	

## \*御礼\*

交通安全母の会様より、あいさつ運動のたすきとのぼり旗、鼓笛用のカラーガード、横断旗をご寄付いただきました。大変ありがとうございました。

## 同窓会入会式と農業科修了式を行いました

19日（金）、同窓会長様とPTA会長様の同席のもと、豊川小学校同窓会入会式を行いました。同窓会長様から、記念品をいただき、励ましの言葉で祝福されました。同窓会の一員として、やがては豊川小学校の子ども達を支える地域の大人へと成長してくれることを願っています。



【農業科修了証書の授与】

続いて、農業科支援員の只浦さんと細田さん、公民館長様の同席のもと、農業科修了式を行いました。只浦さんから一人一人に修了証書が授与され、励ましや期待の言葉をいただきました。農業科の学習の締めくくりとして修了証書が授与されるのは豊川小学校だけです。手作りの修了証書は、子ども達の記念になります。農業科支援員のお二人をはじめ、公民館長様、地域の方々のご尽力に心より感謝申し上げます。



【入会者代表の言葉】

## 認知症ってなあに？ ～認知症キッズサポーター養成講座：4年生～



【自分たちにできることは？】

12日（金）、喜多方市地域包括支援センターの職員の方を講師に、認知症はどんな病気なのか、気持ちを理解しながらどのように接したらよいのか等について学びました。子ども達は真剣に話を聞き、「家のひいおばあちゃんと一緒に物を探してあげたい。」「おじいちゃんやおばあちゃんが物忘れや怒りっぽくなって不安がっている。やさしく接したい。」など、家族に思いを寄せながら考えることができました。最後に、「認知症キッズサポーター」の証としてオレンジリングをいただきました。子ども達は認知症の方を応援します！

## PTA奉仕作業、お世話になりました

14日（日）の早朝、小雨の降る肌寒いの中、PTAの総務部と社会・施設部の皆様が、防球ネットの取り付けや校庭の整地、横断旗の設置等の作業を行っていただきました。お陰様で、整備された環境で安心して新年度を迎えることができます。ご協力ありがとうございました。

## 5回目のメディア・セレクト週間を終えて

2月18日（木）から24日（水）まで、今年度最後となるメディア・セレクト週間の取組にご協力いただきましてありがとうございました。今回の結果をお知らせいたします。

\* 読書冊数と学習時間の各学年の平均と、「ゲームやSNSは8時で終了」が守られた割合 \*

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
読書冊数(冊)	7.2	6.3	5.1	5.3	8.9	4.9
学習時間(分)	22	37	36	52	57	67
ゲームやSNSは8時で終了(%)	89	73	47	69	65	38

「学習時間」については、引き続きほとんどの学年でめやすとなる学習時間（学年×10分+10分）を達成できています。多くの子ども達が各学年のめやす時間を意識して家庭学習に取り組めるようになったことが、学力向上につながっていると考えます。

「読書冊数」についても、5冊から9冊前後となっていて、大変すばらしい結果です。ただ、全く本を読まない子どもが固定化しています。読書は、子どもにとっても大人にとっても心と頭の栄養です。大人が読書をしている姿を見せる、一緒に読書をするなど、大人になっても読書を楽しむ姿をぜひ子ども達に見せていただければと思います。

「ゲームやSNSは8時で終了」については、翌日が休みになる安心感からか、金曜日や土曜日に守られていない傾向が見られました。これから春休みを迎え、長時間の使用や遅い時間までの使用が心配されます。充実した春休みを過ごし、新学期の学校生活をスムーズにスタートできるよう、メディア使用の約束についてご家族で再確認していただくようお願いいたします。

中学生になると二次反抗期に入り、自分が必要だと思わなければやろうとしなくなります。望ましい生活習慣を身に付けるのは、小学生までが勝負と言われています。

**\* 子ども達とおうちの方（親子）の感想を紹介します \***

子：家族でゲームができてよかった。
親：ゲームをせず、トランプやテーブルゲームを家族で楽しい時間を過ごせて良かったです。娘といろいろな話をし、考えや思っていることを話せて良かったです。
子：今日、初めてかわからないけれど、全部クリアできたのでうれしかったです。
親：今回は、お休みの日も弟や妹と楽しく遊んですごせたので、これからも時々、テレビやゲームをしない日があっても大丈夫そうだね。
子：赤ちゃんの面倒は、毎日できて良かったです。ゲームじゃなくて、赤ちゃんの面倒を基本的にできて良かったです。
親：弟の面倒を見てくれて助かっています。休みの日は元気に友達と遊んだり、外で体を動かしたりすることができて良かったです。
子：ゲームよりも、本や家族といる時間が多かったです。本も26冊読め、家族と楽しく過ごせたのがよかったなと思いました。ゲームだけでなく、みんなで楽しむ時間もいいなと思いました。
親：ゲームは時間を決め、毎日にならないように行っていたようです。本はマンガも含めて読み、家族での会話やお手伝いもできることを行うなど、取り組んでいました。次年度は6年生になるので、宿題、自主学習等、その他にも頑張ってお取り組んでほしいです。
子：NOテレビ、ノーゲームで、たくさん勉強しました。そのおかげで、学校のテストで高得点を取ることができました。
親：今回はゲーム機に触ることも1回もなかったのが、強い意志をもって取り組んでいたと思います。たくさん体も動かして遊んだ1週間でした。